

第 43 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-43) 報告

SPP-43 プログラム委員長 東京科学大学 竹内希

1. 会議名称：第 43 回プラズマプロセッシング研究会 (SPP-43)
2. 主催：応用物理学会 プラズマエレクトロニクス分科会
3. 協賛学会：プラズマ・核融合学会，静電気学会，化学工学会
4. 期間：令和 8 年 1 月 19 日 (月) ～21 日 (水)
5. 場所：大阪公立大学 I-site なんば (現地開催のみ)
6. 参加人数：合計 77 名
内訳：一般 35 名，学生 32 名，招待 10 名
7. 講演件数：55 件
内訳：プレナリー2 件 (名古屋大学 豊田浩孝先生，九州大学 白谷正治先生)，
プラズマ材料科学賞 2025 受賞記念講演 1 件 (東京科学大学 野崎智洋先生)，
招待講演 2 件，一般講演 50 件 (口頭 22 件，ポスター28 件)
8. セッションの具体的運営：
◎オープニング：PE 分科会幹事長 古閑一憲先生，SPP-43 現地実行委員長 吳準席先生
◎パラレルセッションにはせず，全ての講演をシングルセッションにて実施
◎2 日目午前に「プラズマ材料科学賞 2025 授賞式」および受賞記念講演を実施 (司会 大阪公立大学 白藤立先生)
◎クロージング：PE 分科会幹事長 古閑一憲先生，SPP-43 現地実行委員長 吳準席先生
9. 情報交換会：2 日目講演終了後 参加者人数 27 名 (招待 10 名)
10. 休憩時：お茶・菓子を提供 (会場の都合上，キャップ付きボトルのみ許可)
11. プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 5 回)：18 件の応募，SPP-43 プログラム委員会による厳正な審査の結果，プラズマエレクトロニクス講演奨励賞 (第 5 回) として，令和 8 年 1 月 21 日付けで以下 2 件が受賞決定：
 - ・ 何文涛 (東京科学大学) 「トモグラフィ解析を用いた発光分光法による誘導結合および容量結合酸素プラズマの空間分解計測」
 - ・ 喜多恭平 (北海道大学) 「窒素/水蒸気誘導結合プラズマにおける窒素原子の寿命測定」なお，一次審査として予稿の審査を，二次審査として当日の発表の審査を行った。

12. WEB サイト運営および参加料徴収関係：田中昭文堂印刷（金沢市）に委託，カード決済を基本（インボイス対応のため，現地委員会は現金にタッチしない方式）

13. 広告：合計 10 社様より 1 ページ広告

14. 決算：ご質問があれば竹内までご一報ください

15. そのほか

- 基本的な運営方針は前回の SPP-42 と同一
- 会計に関しては，代行業者として実績ある田中昭文堂印刷様が，事情をよくご承知，価格もリーズナブルゆえ，選定
- 次回 SPP-44 は ICRP-12/SPP-44 として 2026 年 11 月 30 日～12 月 3 日に金沢で開催
<https://smartconf.jp/content/icrp12/>

SPP-43 の報告の最後に，以下の先生方の献身的なご協力に，心より感謝申し上げます。

【プログラム委員会委員】（敬称略）

松井都（日立製作所），呉準席（大阪公大），田中学（九州大），村上朝之（成蹊大），内田儀一郎（名城大），金大永（科学大），栗田弘史（豊橋技科大），榊田創（名城大），眞銅雅子（大阪工業大）

【現地実行委員会委員】（敬称略）

実行委員長 呉準席（大阪公大）

実行委員 白藤立（大阪公大），松浦寛人（大阪公大），黒木智之（大阪公大），竹中弘祐（大阪大），都甲将（大阪大）